県議会だより ふくしま
2月定例会の概要（2／14～3／17開催）
第69号
[企画・編集] 福島県議会広報委員会

復興・創生を加速！
平成29年度予算を可決!!

2月定例会では、知事提出議案として、復興・創生分8750億円を含め総額1兆718億円に上る平成29年度一般会計予算などの予算に関する議案30件、三世代が同居または近居する住宅の取得に対する不動産取得税を減税するなどのための「福島県税特例措置条例の一部を改正する条例」などの条例に関する議案36件、「包括外部監査契約について」などその他の議案76件、議員提出議案として、小規模企業振興のための「福島県中小企業振興基本条例の一部を改正する条例」や、「JR只見線の早期全線復旧を強く求める意見書」など国へ提出する意見書10件、「県立高等学校改革の慎重な対応を求めることについて」などの請願2件を可決・同意・採択しました。

福島県総合計画11の重点プロジェクト
646事業　8,209億円（再掲事業を含む）

❶ 人口減少・高齢化対策プロジェクト　177事業　421億円
◇しごとづくり・しごとを支える人づくり　◇新しい人の流れづくり
◇結婚・出産・子育て支援　◇暮らしやすく活力あるまちづくり
◇高齢者が元気で豊かに暮らせるまちづくり

避難地域の復興・再生

❷ 避難地域等復興加速化プロジェクト　40事業　530億円
◇安心して暮らせるまちの復興・再生　◇世界のモデルとなる復興・再生

安心して住み、暮らす

❸ 生活再建支援プロジェクト　38事業　748億円
◇住まいや安全･安心の確保　◇帰還に向けた取組･支援　◇避難者支援体制の充実

❹ 環境回復プロジェクト　33事業 2,427億円
◇除染の推進　◇食品の安全確保　◇廃棄物等の処理
◇環境創造センター等における研究の推進　◇廃炉に向けた安全監視

❺ 心身の健康を守るプロジェクト　34事業　151億円
◇県民の健康の保持・増進　◇地域医療等の再構築　◇最先端医療の提供
◇被災者等の心のケア

❻ 子ども・若者育成プロジェクト　81事業　190億円
◇日本一安心して子どもを産み、育てやすい環境づくり
◇復興を担う心豊かなたくましい人づくり　◇産業復興を担う人づくり

ふるさとで働く

❼ 農林水産業再生プロジェクト　69事業　540億円
◇安全･安心を提供する取組　◇農業の再生　◇森林林業の再生　◇水産業の再生

❽ 中小企業等復興プロジェクト　43事業 1,166億円
◇県内中小企業等の振興　◇企業誘致の促進

❾ 新産業創造プロジェクト　28事業　348億円
◇再生可能エネルギーの推進　◇医療関連産業の集積　◇ロボット関連産業の集積

まちをつくり、人とつながる

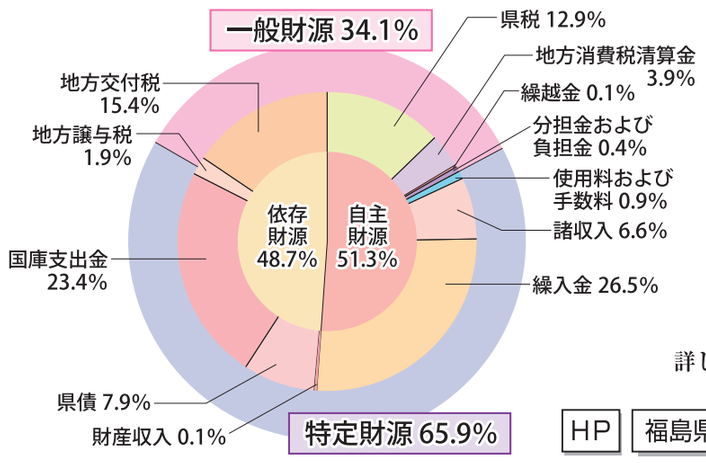
❿ 風評・風化対策プロジェクト　66事業　128億円
◇農林水産物をはじめとした県産品の販路回復・開拓
◇観光誘客の促進・教育旅行の回復　◇国内外への正確な情報発信
◇ふくしまをつなぐ、きずなづくり
◇東京オリンピック・パラリンピックを契機とした情報発信・交流促進

⓫ 復興まちづくり・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト　37事業 1,560億円
◇津波被災地等の復興まちづくり　◇復興を支える交通基盤の整備
◇防災・災害対策の推進

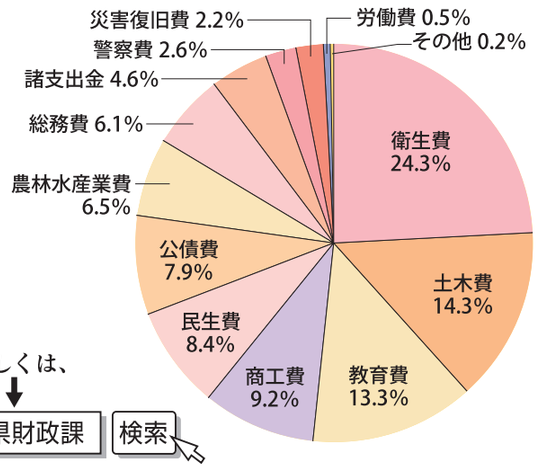
平成29年度 福島県一般会計当初予算

総額 1兆7,184億円
うち 復興・創生分 8,750億円

歳　入



歳出・目的別



詳しくは、
HP　福島県財政課　検索

定例会での主な質疑

新年度当初予算編成

質疑 平成29年度当初予算をどのような考えの下で編成したのか。

答弁 復興と地方創生という大きな二つの課題に立ち向かい、前に進んでいくため、政府要望などを通して財源の確保を図りながら、復興の土台を固める取組を継続するとともに、さらに一歩踏み出し、未来に向かって攻めていく姿勢を盛り込んだ新年度予算を編成した。

地方創生の加速化

質疑 地方創生の加速化にどのように取り組んでいくのか。

答弁 本県は、暮らしやすい地域としての潜在的な力があることに加え、震災を経て、復興の取組を通じた福島ならではの「チャレンジの場」としての魅力も有しており、地方創生の先進地になり得る。ふくしま創生総合戦略に基づく取組を次の段階へと進め、新年度を地方創生加速化の一年とする決意の下、引き続き全庁一丸となって取り組んでいく。

均衡ある県土発展

質疑 人口が減少する中、浜・中・会津の均衡ある発展にどのように取り組んでいくのか。

答弁 イノベーション・コースト構想や福島新エネ社会構想の具体化により、その効果を全県に波及させるとともに、医療機器開発支援センターや会津大学の先端ICTラボ等の拠点を核とした医療関連産業やロボット産業等の集積による雇用の創出、交流の拡大を図り、各地域の新たな発展につなげていく。

定住・二地域居住

質疑 定住・二地域居住の推進にどのように取り組んでいくのか。

答弁 都内の相談窓口機能を拡充するとともに、県内7方部に移住コーディネーターを新たに配置し、市町村や関係団体等との連携を一層深めながらきめ細かな支援を行うため、受入体制を強化していく。さらには、活躍する移住者の姿を通して、福島が持つ「チャレンジの場の魅力」を幅広く発信することで、福島ならではの定住・二地域居住を積極的に推進していく。

医療提供体制

質疑 いわき市や双葉郡の医療提供体制の整備にどのように取り組んでいくのか。

答弁 昨年取りまとめた双葉郡等避難地域の医療等提供体制検討会の中間報告の中で、（仮称）ふたば医療センターを整備するほか、医療機関の再開や診療継続への支援を進めることとしたのに加え、いわき市等近隣地域の医療提供体制の充実に向け支援が必要であるとしている。今後は、地元市町村等の意見を聞きながら、新たな医療復興計画を速やかに策定し、医療提供体制の整備に取り組んでいく。

ふたば医療センター（仮称）イメージ

再生可能エネルギー

質疑 再生可能エネルギー先駆けの地の実現に向けた思いを尋ねる。

答弁 福島新エネ社会構想において盛り込まれた風力発電の計画的導入、水素の県内利用の推進、スマートコミュニティーの構築などの先駆的な取組に挑戦するとともに、県内企業のグローバルな事業展開を支援し、関係機関と緊密な連携を図りながら、再生可能エネルギー先駆けの地の実現に向け、引き続き全力で取り組んでいく。

ホープツーリズム

質疑 ホープツーリズムをどのように推進していくのか。

答弁 国内外の人々に「福島から未来を学びたい」と思っていただけるよう、教育旅行、行政や企業の人材養成研修など、様々な対象に応じた独自のコンテンツを地域の方々と手を携えながら創り出し、福島だからこそ可能なホープツーリズムを積極的に推進していく。

頑張る学校応援プラン

質疑 「頑張る学校応援プラン」をどのような考えの下で推進していくのか。

答弁 市町村教育委員会や学校現場の教員一人一人と思いを共有しながら、プランを確実に遂行し、体験活動や地域課題に取り組む探究活動により、未来を担う子どもたちの志を育むとともに、学校と地域双方の活性化を図り、将来への希望や生きる喜びを実感できる本県ならではの教育の実現に挑戦していく。

議会構成の変更

【会派構成】
2月14日、佐藤金正議員、本田仁一議員の両議員から辞職願が提出され、本会議で辞職を許可。
両議員の辞職による会派構成は次のとおり。
定数58人、現員56人（自由民主党28人、民進党・県民連合19人、日本共産党5人、公明党3人、ふくしま未来ネット1人）

【農林水産委員会】
西山尚利議員を土木委員から所属変更。佐藤義憲委員を副委員長に選任。

【議会運営委員会】
吉田栄光議員を委員に選任。

【地域創生・産業振興対策特別委員会】
亀岡義尚議員を委員に、佐藤義憲委員を副委員長に選任。

中小企業振興基本条例の改正案を可決

3月17日の定例会最終日、議員提出議案の「福島県中小企業振興基本条例の一部を改正する条例」を全会一致で可決した（同月24日に公布・施行）。
今回の改正案は、昨年9月定例会で設置した「中小企業振興基本条例見直し検討会」が中小企業・小規模企業の振興を図るため取りまとめたもの。定例会初日の2月14日、本会議終了後、検討会の渡辺義信会長と高野光二副会長が杉山純一議長と満山喜一副議長に検討結果を報告し、3月3日、本会議に提案した。

正副議長への検討結果報告

議員研修会を開催

2月23日、「第43回福島県議会議員研修会」を開催し、谷川攻一氏（福島県立医科大学副理事長、ふくしま国際医療科学センター長）を講師に迎え、「福島県の復興に向けた医療拠点の整備」について研修を行った。

議員研修会

政務活動費研修会を開催

3月16日、議員、会派職員等を対象とした「政務活動費研修会」を開催し、政務活動費のさらなる透明性を確保するため収支報告書を作成する際の留意点などを確認した。

政務活動費研修会

議員定数等検討委員会を設置

3月3日の本会議で、議員定数等を協議するため、「議員定数等検討委員会」を設置した。
委員会は7日に初会合を開き、検討事項等を協議するとともに、双葉郡選挙区について、原発事故で住民が避難している状況下の国調人口で同選挙区の存廃を決めるのは適当でないとして、国に選挙区存続に向けて特例措置を求めることで一致した。
同日、斎藤健治委員長と西丸武進副委員長は、杉山純一議長と満山喜一副議長に対し、同選挙区の維持存続に必要な対応を国に求めるよう要請した。
委員長、副委員長以外の委員は次のとおり。
川田昌成、宗方保、斎藤勝利、神山悦子、太田光秋、亀岡義尚、渡辺義信、高橋秀樹、今井久敏、西山尚利、小林昭一、遊佐久男

議員定数等検討委員会の初会合

商労文教委員会が議員提案条例を審査

3月13日、商労文教委員会は、3月3日の本会議で付託された議員提案の「福島県中小企業振興基本条例の改正案」について、提案議員から説明を受けた後、各委員と提案議員間で質疑応答を行った。

農林水産委員会が農業女子と意見交換

3月13日、農林水産委員会は、女性農業者とアグリカレッジふくしま等の学生や新規就農希望者等でつくる「ふくしま農業女子ネットワーク」（平成28年7月設立）のメンバーと、福島の農業の復興・再生に向け女性農業者の現状や課題などについて意見交換を行った。

農業女子と意見交換を行う農林水産委員会

商労文教委員と提案議員との質疑応答

総括審査会を2日間開催

3月15日、16日の両日に、本会議や常任委員会で論議が尽くせなかった問題などについて審議する「総括審査会」を開催し、各会派から10名の委員が復興・創生期間の2年目に向けた施策等について、執行部の取組をただした。

一問一答方式で質疑を行う総括審査会

可決した国への意見書
（平成29年3月17日国へ提出）

❶ JR只見線の早期全線復旧を強く求める意見書
❷ 地域公共交通の維持・発展に向けた施策の推進を求める意見書
❸ 無料公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備促進を求める意見書
❹ 海洋ごみの処理推進を求める意見書
❺ 水素ステーションの整備促進を求める意見書
❻ 過疎地域の追加と過疎対策事業債の対象事業拡充を求める意見書
❼ 指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書
❽ 放射線リスクの情報提供の徹底と放射線教育の拡充を強く求める意見書
❾ 福島県最低賃金の引上げを求める意見書
❿ 地域の実情に応じて運用できる「民泊」の法制化を求める意見書

採択した請願
（意見書、決議を求めるものを除く）

❶ 県立高等学校改革の慎重な対応を求めることについて

お知らせ

◆平成29年6月定例会は、6月20日（火）開会の予定です。
◆ご意見・ご感想をお寄せください。
メール：gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
◆詳しい情報は
HP　福島県議会　検索
携帯からは
◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル（YouTube）」もご覧ください。

Future From Fukushima
ふくしまから はじめよう。

〈広　告〉